

代々続く愛知の苺農園のブランディング

コンドウ農園

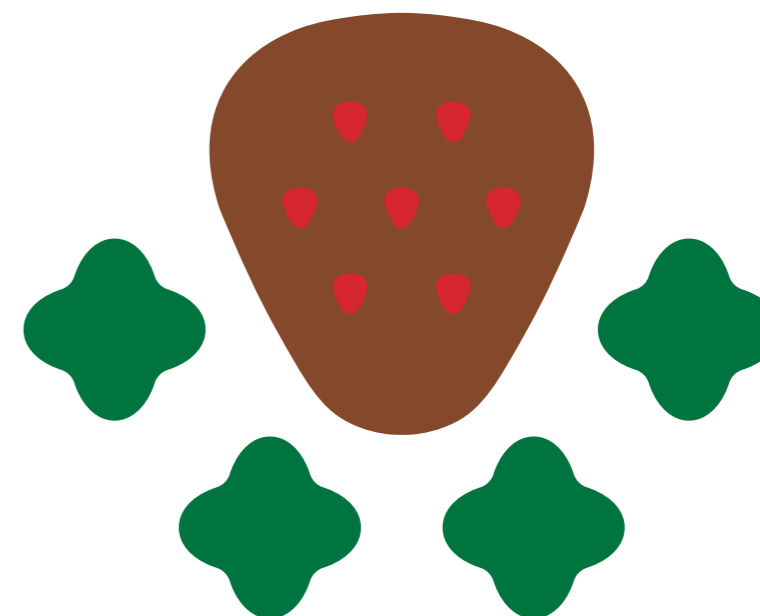
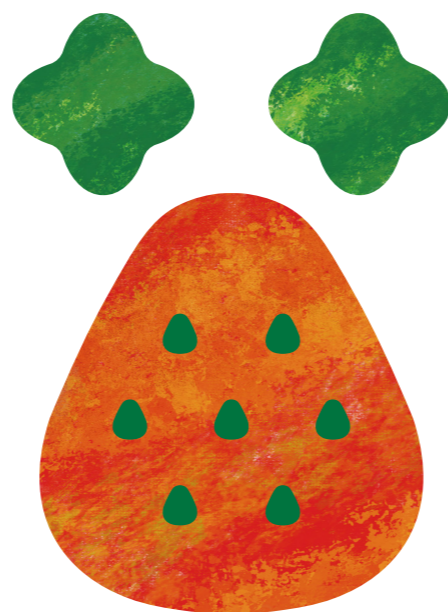
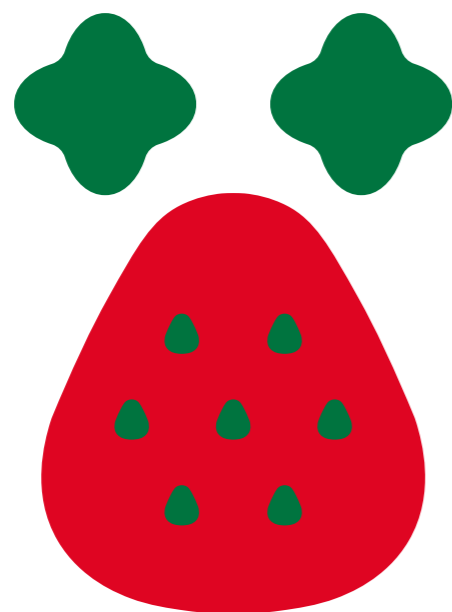
企画意図
コンセプト
アイデア

二代に渡り技術を受け継ぎ、丹精込めて育てられたコンドウ農園の苺の農園のイメージ刷新を図るブランディング。

「苺」という漢字、一文字をロゴに。さらに赤い実の中にも沢山の苺を配して、売りの《多品種栽培》を表します。

さらにこのロゴマークを展開して作られた、「コンドウ農園 大地のロゴマーク」を作成。

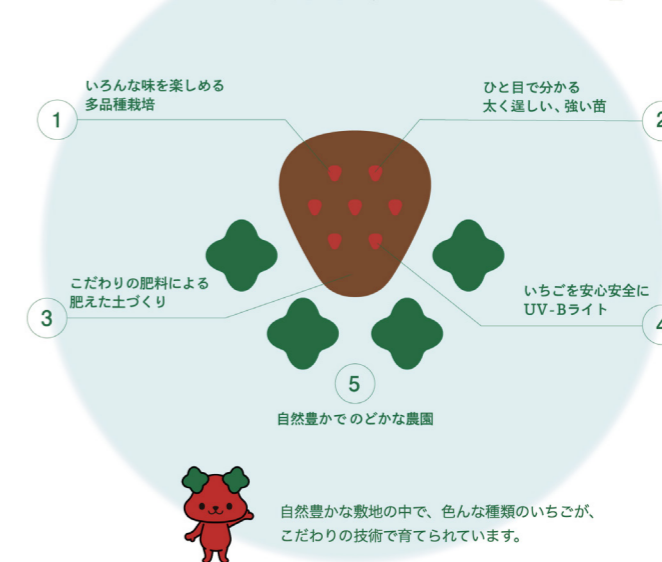
自然豊かな土地で、土に肥料にこだわり、多品種栽培を続けるコンドウ農園の姿勢、こだわりを表現します。



コンドウ
農園
K O N D O
S T R A W B E R R Y
P L A N T A T I O N

コンドウ
農園
K O N D O
S T R A W B E R R Y
P L A N T A T I O N

多岐に渡る、いちご育成のこだわりを表現。
「コンドウ農園 大地のマーク」



ロゴデザインに完全連動。忘れられない友達に。
マスコットキャラクター「ワンゴ」

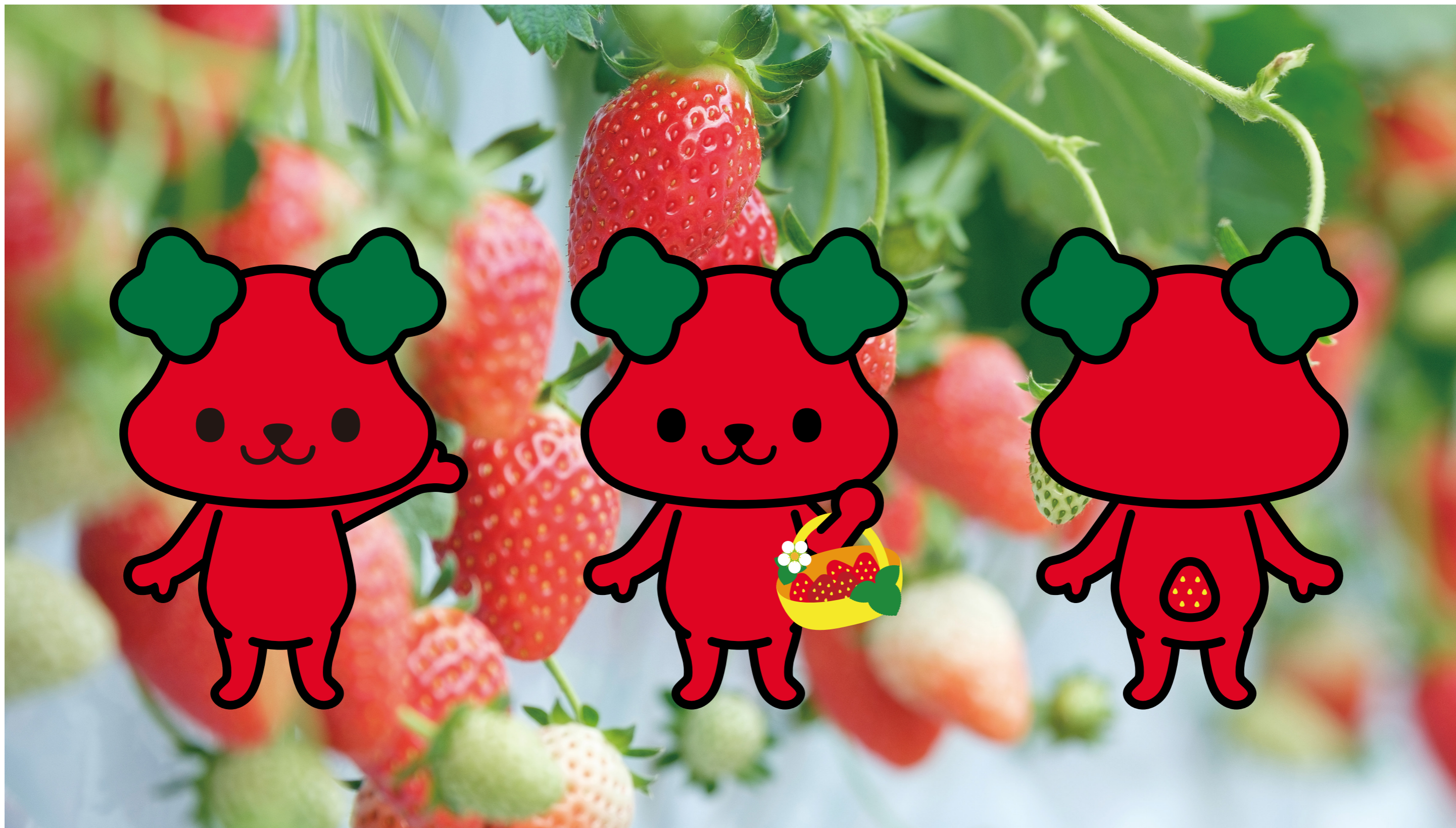
企画意図
コンセプト
アイデア

コンドウ農園のロゴマークとお揃いの形の耳を持った、真っ赤な苺の子犬。

「いちご」の「いち」を「one (ワン)」に置き換えて考案したその名は「ワンゴ」。親しみやすく覚えやすい名に。

苺を食べすぎて真っ赤になったワンゴのすみかはコンドウ農園。苺畑でのお散歩が大好きです。

本当は恥ずかしがり屋なのに、顔が赤くなくても誰にもわかってもらえない。それがワンゴの目下の悩みです。



ブランディングを強化する ウェブ展開

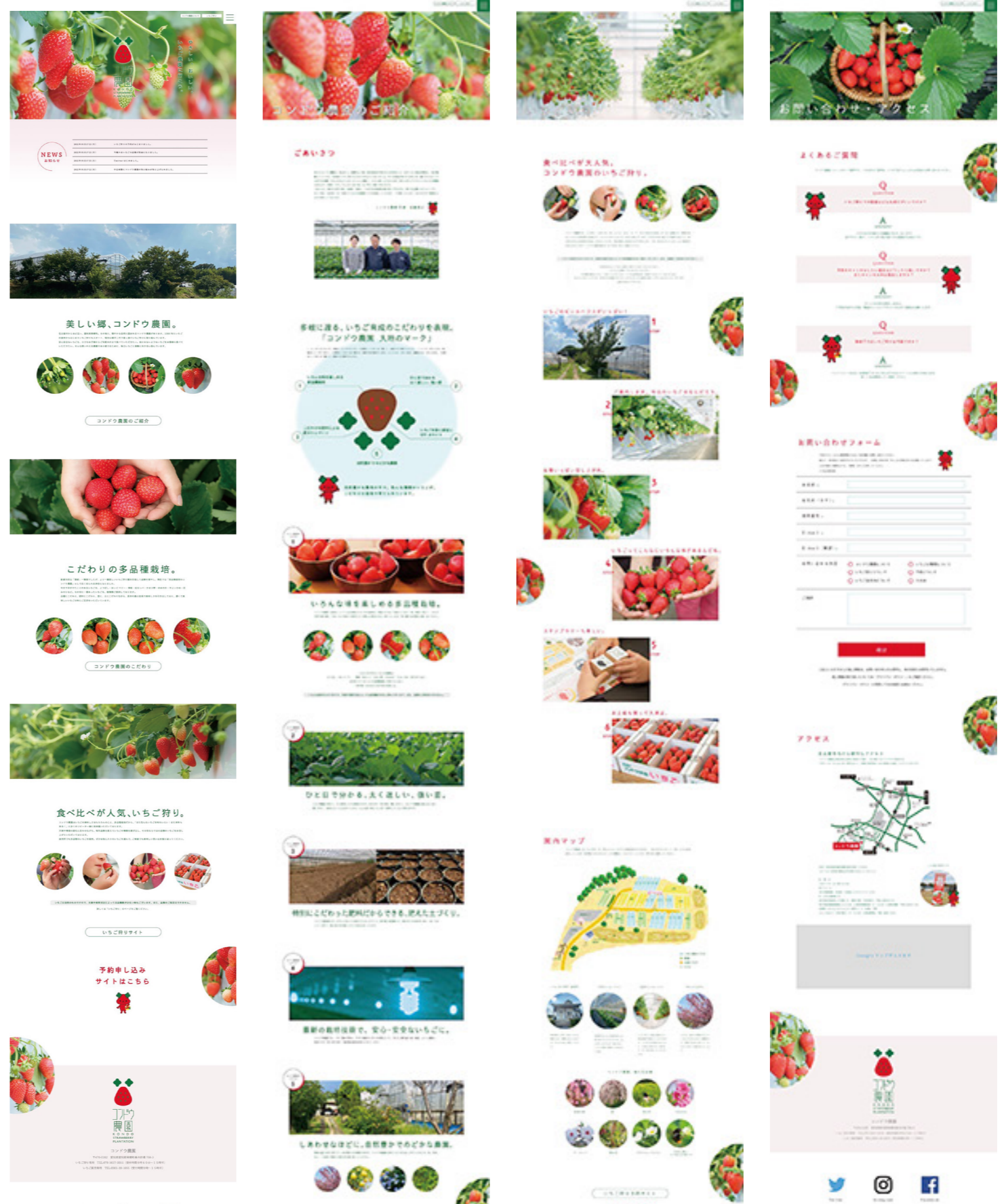
企画意図
コンセプト
アイデア

まるで苺農園に直接訪れたかのような、癒される心地よい写真でウェブサイトを展開。

コンドウ農園を初めて知った方にもわかりやすく構成。ほぼ赤白緑でできたビジュアルで、ブランドの統一感を創生。

要所要所でいちご狩り申込フォームへの誘導を図り、分かりやすくお客様をコンドウ農園へお招きします。

清潔さ、明るさ、親近感を創生する展開で、新生コンドウ農園のブランドをお伝えします。



こだわりの多品種栽培。

※本サイトは「野菜」一環でありますが、より美味しいいちご狩り体験を創出して皆様をお迎えし、現在では「多品種栽培の

ひとつの強い印象に導いていく
ブランディング展開



デザインのちからで実体験の喜びを増幅し、印象を強める。

ブランディング展開



コンドウ
農園
K O N D O
STRAWBERRY
PLANTATION

ウェブサイトからの誘導



美味しくって、大好きになる



自慢の多品種苺を食べ比べできる

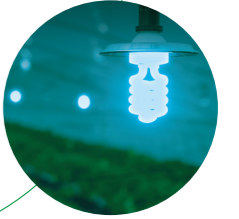
コンドウ農園の

いちご狩り



コンドウ
農園
K O N D O
STRAWBERRY
PLANTATION

代々の技法と最新設備で
育て上げた多品種苺



楽しくって、大好きになる



お日様の下でひろげる、仕掛けが楽しい
コンドウ農園の

パンフレット

印象的に「思い出」を創生します。

モノ、コト、両方の喜びをリンクさせて、

苺が生産される苺農園。その場所で。

楽しくって、大好きになる



キャラクターと一緒に色んな苺の収穫を楽しむ

コンドウ農園の

スタンプラリー

